



平成 28 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 田中精密工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 長岡 隆
 (コード：7218)
 問合せ先 営業企画部事業管理ブロック
 ブロックリーダー 沖 健司
 (TEL. 076-451-7651)

関係会社出資金評価損の計上及び個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

本日開催の取締役会において、下記のとおり関係会社出資金評価損を計上することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

また、平成 28 年 3 月期の個別業績と前年事業年度の実績値に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 関係会社出資金評価損の内容

ベトナムの当社連結子会社であるタナカ・プレジジョン・ベトナム・カンパニーリミテッド（以下、TPVN）において、アセアン及び南米での景気低迷による受注の減少等により、経営成績及び財政状態が悪化したため、当社が保有する TPVN への出資金の実質価額が低下しました。これにより「金融商品に関する会計基準」に基づき減損処理を行い、関係会社出資金評価損 593 百万円を特別損失に計上することといたしました。

2. 業績に与える影響

平成 28 年 3 月期（自平成 27 年 4 月 1 日至平成 28 年 3 月 31 日）の個別決算において、上記評価損を特別損失として計上いたします。

なお、関係会社出資金評価損は連結決算上消去されるため、連結業績への影響はありません。

3. 平成 28 年 3 月期の個別業績と前年事業年度の実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
平成 27 年 3 月期実績値(A)	15,426	△205	479	△3,742	△383.38
平成 28 年 3 月期実績値(B)	14,633	313	863	500	51.27
増減額(B-A)	△792	519	383	4,242	
増減率(%)	△5.1	-	80.0	-	

(1) 差異の理由

営業利益及び経常利益につきましては、合理化施策による経費圧縮効果により、また当期純利益につきましては、平成 27 年 3 月期において当社主力製品生産設備の減損処理等の特別損失を計上したことによるものであります。

以上